

FJDaaS with Citrix Cloud ご紹介資料

2023年1月

富士通株式会社

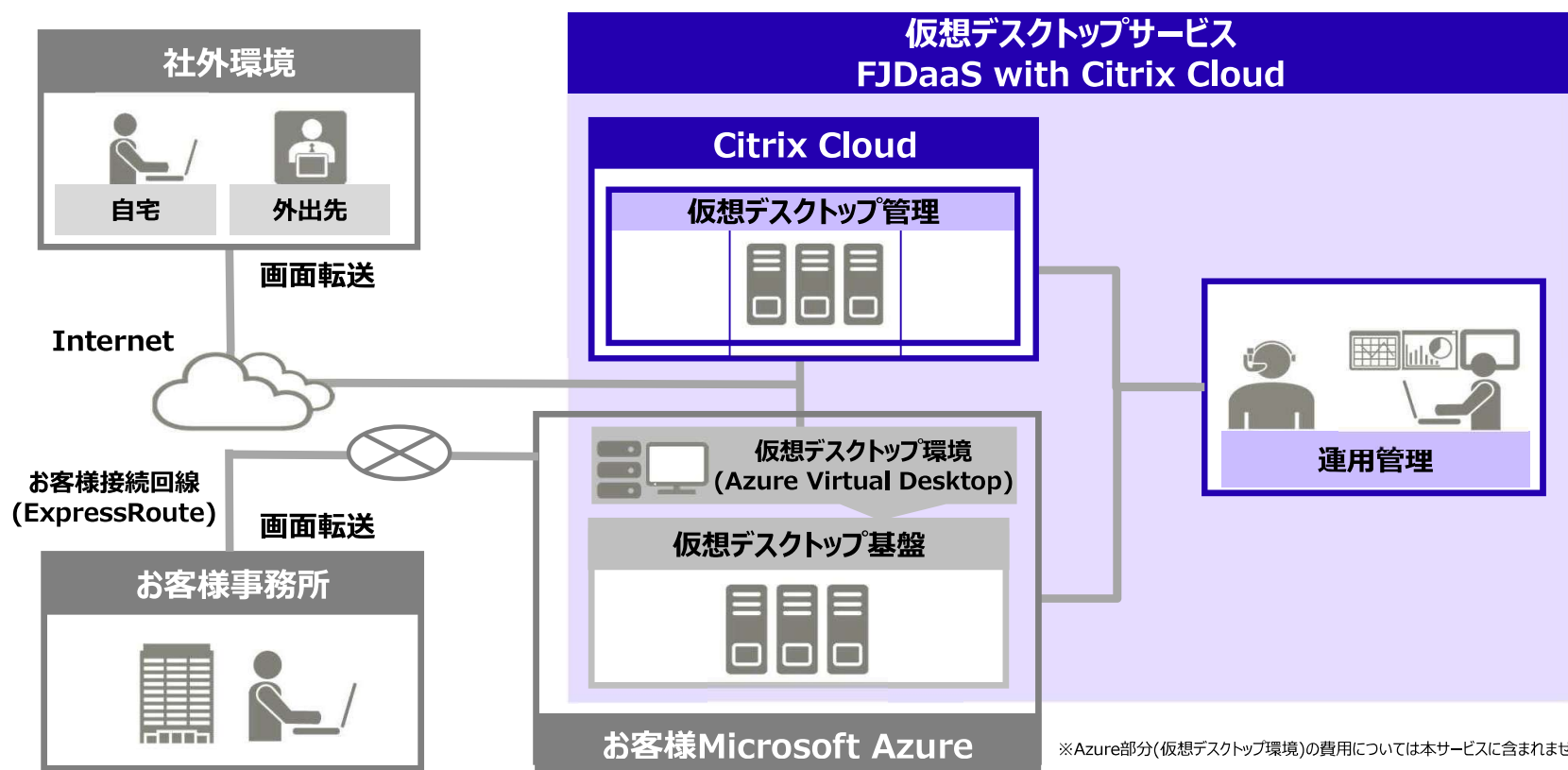


- 仮想デスクトップサービス FJDaaS with Citrix Cloud
 - FJDaaS with Citrix Cloudとは
 - FJDaaS with Citrix Cloudの特長
 - サービスメニュー
 - 基本サービス
 - オプションサービス
 - お客様でご準備いただくもの
- 参考資料

FJDaaS with Citrix Cloud

FJDaaS with Citrix Cloudとは

- シトリックス社が提供するCitrix Cloud（コントロールプレーン）とマイクロソフト社が提供するAzure（データプレーン）を組み合わせ、お客様に従量課金型で仮想デスクトップを提供するサービスです。



コスト最適化

マルチセッション型のWindowsによる効率的なリソース利用と完全従量型で必要な分だけ課金

簡単運用

管理者ポータル（GUI）の提供でタイムリーに仮想デスクトップを管理・展開

高い拡張性

Azureを利用することでお客様のビジネス状況にあわせてスピーディーに拡張

FJDaaS with Citrix Cloud

サービスカテゴリ	サービス名	課金方式	説明
基本サービス【必須】	テナント設定	一括	... Citrix Cloudのテナント初期設定を行います
	テナント利用	月額固定	... 運用監視、定期メンテナンス等のテナント管理を行います
	仮想デスクトップ利用	月額従量	... Citrixライセンス利用料、インシデント/QA対応を行います。接続ユーザー数分を課金します
オプションサービス	プロファイル領域設定	一括	... Azure NetApp Filesを使用したユーザプロファイル領域を設定します
	マスター設定	一括	... マスターVMの作成・初期設定を行います ※基本サービスにはマスター作成は含まれません
	導入代行・支援	一括	... 初期導入時にお客様に実施いただく作業について、お客様をご支援、もしくは、お客様に代わって作業いたします
	運用代行設定	一括	... 運用時にお客様に実施いただく作業について、お客様をご支援、もしくは、お客様に代わって作業いたします
	運用代行利用	月額固定	... [運用代行設定]...非定型作業や定型作業の準備等 [運用代行利用]...定型作業等

基本サービス

《サービス内容》

- お客様利用者および管理者がご利用になるテナント専用環境部分の構築を行います。
 - ・Citrix Cloudテナントの払い出し、及び管理者ポータル設定
 - ・利用者ポータル（StoreFront）の構築、IPアドレス設定
 - ・運用監視設定の実施
 - ・Citrixアカウントの設定
 - ・Azure上（リソースプレーン）の仮想ネットワーク環境構築／インターネット接続設定

- 納品物**
- ・お客様管理者向けドキュメント「運用手順書」
 - ・お客様利用者向けドキュメント「利用手順書」
 - ・お客様管理者向けドキュメント「マスター作成手順書」

《留意事項》

- 環境構築開始の前提として、お客様接続回線の設定（ExpressRoute等）、Azure環境のアカウント権限設定が必要です。
- 本作業前に、お客様ネットワーク環境（Firewall）で本サービスで必要となるポートの通信許可設定を実施いただけるものとします。
- マスター原本作成は、環境お引渡し後のお客様作業となります。仮想デスクトップの稼働に必要なモジュール、及びマスター作成手順書は富士通から提供致します。また、「マスター設定」オプションを契約頂くことで、富士通にてマスター原本を作成致します。

- 24時間365日利用可能な仮想デスクトップ管理機能及び基盤メンテナンスを提供します。

<管理者ポータル<の提供>

仮想デスクトップの展開、ユーザー割り当てやCitrixポリシーの設定ができます。また、ユーザーの接続エラーや、平均ログオン時間なども確認できるため、監視およびトラブルシューティングが容易に行えます。

<運用・監視サービス>

富士通にて仮想デスクトップ基盤の監視・メンテナンス・運用を実施いたします。（但し、仮想デスクトップは除く）
また、お客様管理者に対して、QA/トラブル解決支援サービスを提供致します。

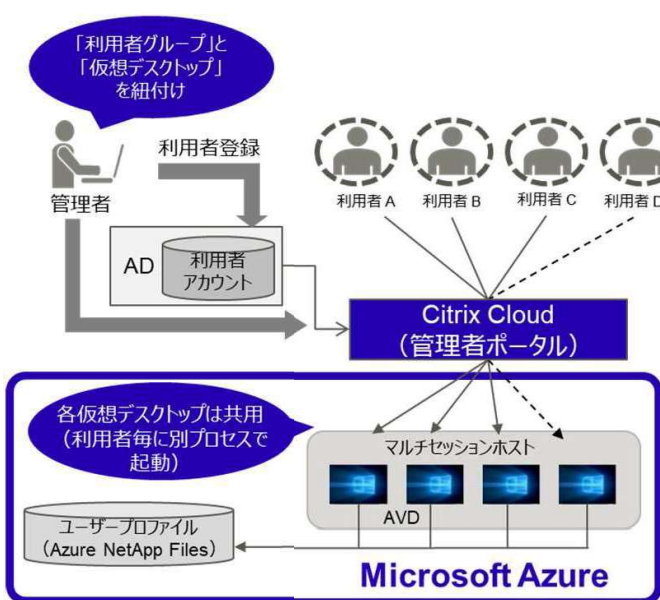
[本サービスにて実施する仮想デスクトップ基盤のメンテナンス]

メンテナンス種類	主な作業内容	実施頻度	お客様への影響	実施日の通知
定期メンテナンス	管理系サーバのOSパッチ適用など	月1回	メンテナンス作業時間中は無停止で実施しますが、一時的に一部の管理作業や仮想デスクトップができなくなる場合があります。	お問い合わせポータルに掲載
不定期メンテナンス	管理系ソフトのバージョンアップなど	年4回程度	作業内容に依存しますが、原則、仮想デスクトップの利用ができなくなります。	お問い合わせポータルに掲載
コントロールプレーンのメンテナンス	Citrix社にてCitrix Cloudのバージョンアップやパッチ適用など	随時	影響ありません。冗長構成のため、無停止で実施されます。 Citrix Cloudの月間稼働率は99.9%です。	通知は行いません

利用可能な仮想デスクトップの種類

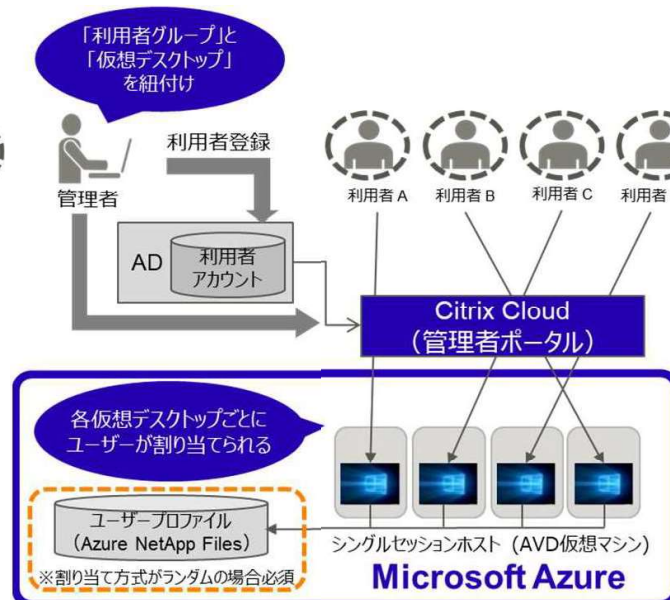
○ お客様のご利用形態や用途・目的に合わせて3つのタイプから選択できます。

【マルチセッション】



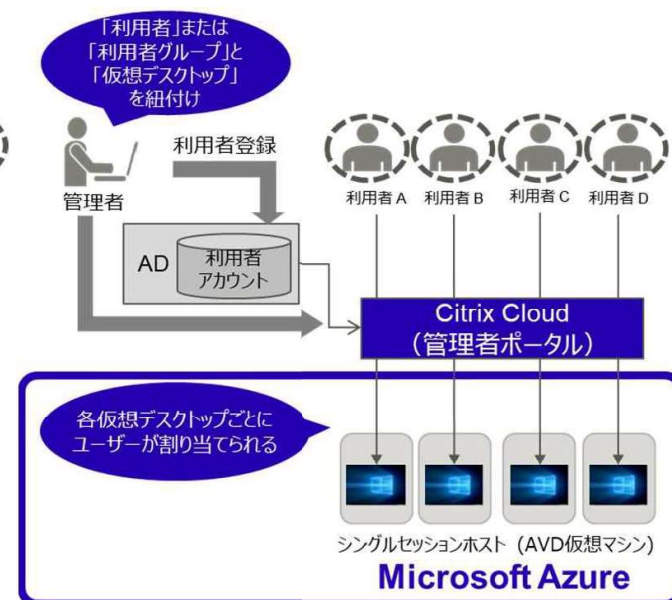
利用者数が多く、リソースを効率的に使いたい

【シングルセッション・ランダム割当】



管理者による一元管理と安定したスペックが必要

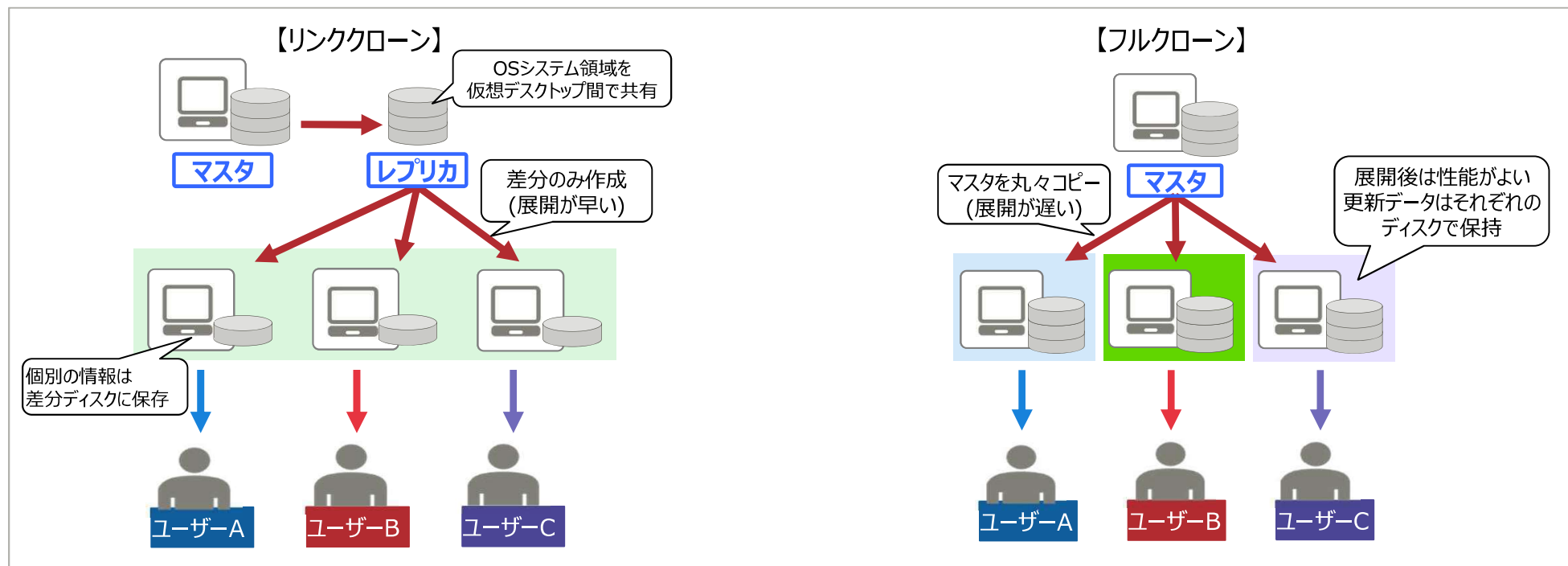
【シングルセッション・専有割当】



物理PCと同様にユーザー毎にカスタマイズしたい

仮想デスクトップの展開方式

- シングルセッションにおいては、2つの展開方式が選択できます。
リンククローンはランダム割当、フルクローンは専有割当に対応しています。
- マルチセッションではリンククローンのみとなります。



仮想デスクトップのスペック

- Azureの全てのインスタンスの中からお客様が自由に選択して利用できます。仮想デスクトップ用として以下のモデルが推奨となります。

【マルチセッションの推奨スペック】

	選択指針／主な用途	インスタンス	ユーザー数	vCPU <small>()内はセッションあたり</small>	メモリ	ディスク種別	ディスク容量
CPU重視	動画やTeams等を多く利用する又は開発用途での利用	F16s v2	16	16 (1.0)	32GB	Standard SSD	128GB
標準	一般的なオフィス業務での利用	D16s v4	24	16 (0.67)	64GB	Standard SSD	128GB
メモリ重視	多くのアプリケーションの同時実行又はオンメモリ処理を行うアプリケーションの利用	E16s v4	24	16 (0.67)	128GB	Standard SSD	128GB

【シングルセッションの推奨スペック】

	選択指針／主な用途	インスタンス	ユーザー数	vCPU <small>()内はセッションあたり</small>	メモリ	ディスク種別	ディスク容量
CPU重視	動画やTeams等を多く利用する又は開発用途での利用	F4s v2	1	4 (4.0)	8GB	Standard SSD	128GB
標準	一般的なオフィス業務での利用	D2s v5	1	2 (2.0)	8GB	Standard SSD	128GB
メモリ重視	多くのアプリケーションの同時実行又はオンメモリ処理を行うアプリケーションの利用	E2s v5	1	2 (2.0)	16GB	Standard SSD	128GB

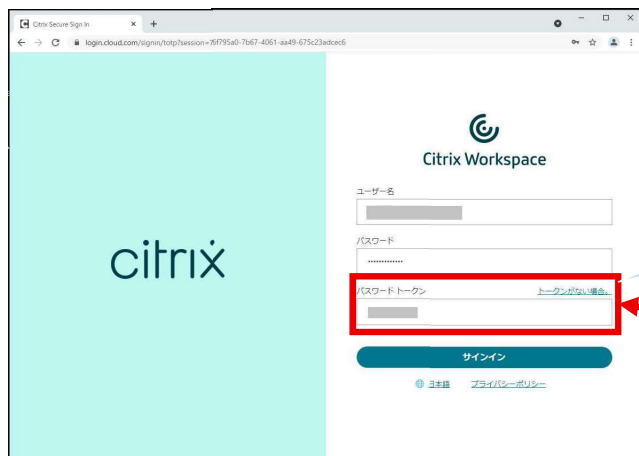
インターネット経由での接続

- ご自宅等からインターネットを経由して仮想デスクトップを利用できます。(標準機能)
- インターネット接続の認証はワンタイムパスワード(TOTP)に対応しています。
ワンタイムパスワードの利用はスマートフォンにアプリをインストールして頂く必要があります。
Google Play/App Storeから入手できます。

【主なワンタイムパスワードアプリ】

- ・Microsoft Authenticator
 - ・Google Authenticator
- ・・・等 RFC6238 TOTP generator互換アプリ

Citrix Workspaceログイン画面



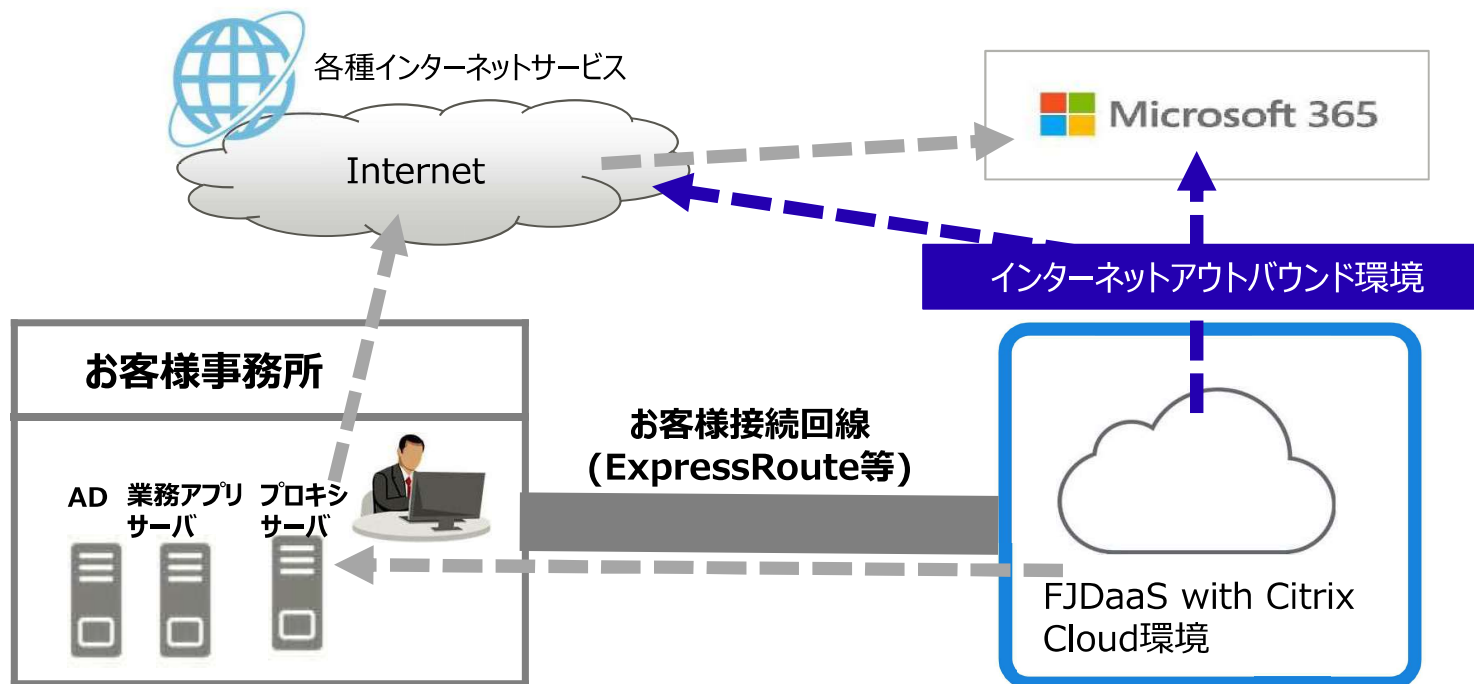
スマートフォンアプリ画面
(Microsoft Authenticator)



インターネットアウトバウンド環境

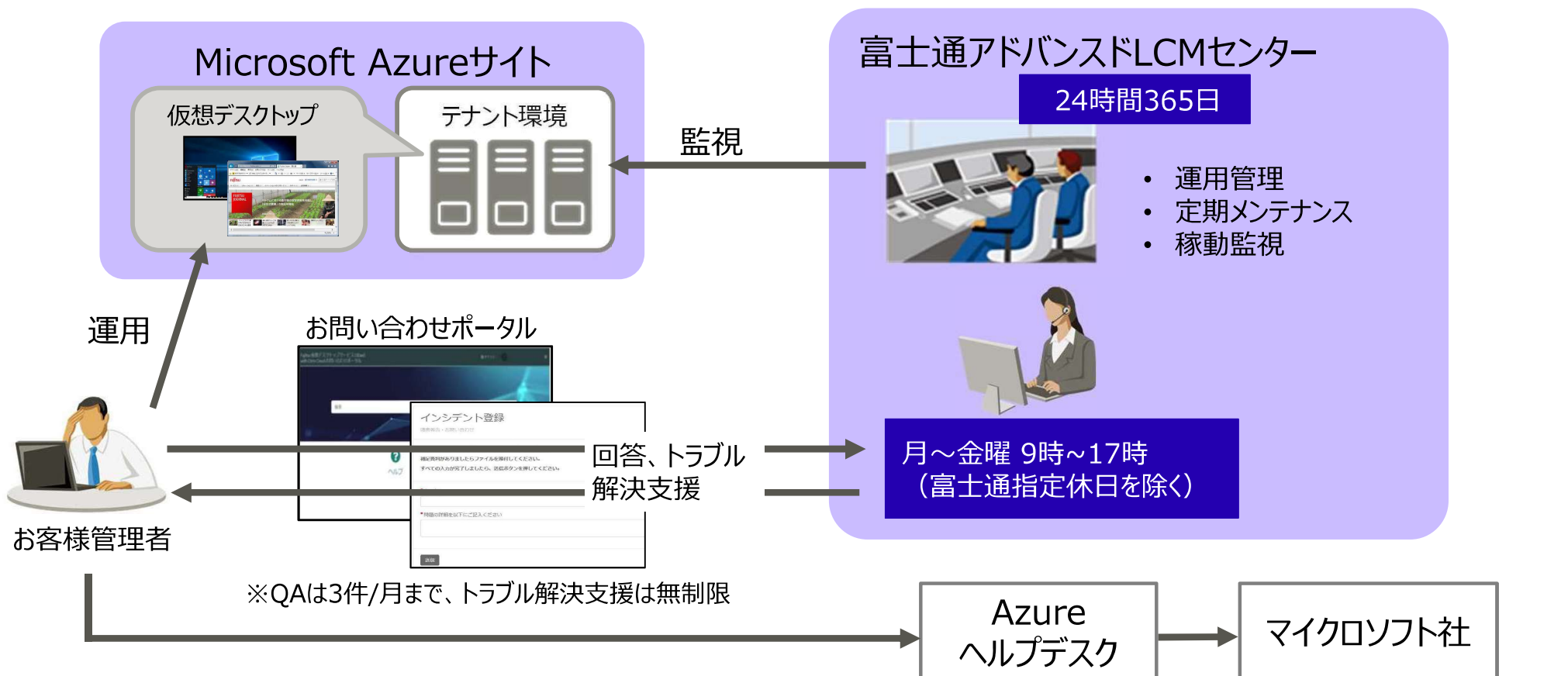
- お客様Azureから直接インターネットに接続できるようにファイアウォール及び仮想ネットワークのルーティング設定が可能です。これによりネットワークトラフィックの最適化ができます。

— — — — —▶ : 有効化した場合
- - - - -▶ : 有効化しない場合



運用サポート体制

- お客様管理者からのQ&A、トラブル時のお問い合わせにご対応致します



お問い合わせポータル

- 各種お問い合わせや利用ID数実績確認がWebから行えます。



Top画面

利用実績明細：

- ・各月のご利用ID数とオプションの明細を参照できます。
- ※Azure部分についてはお客様が契約しているAzureポータルから確認となります。



インシデント(お問い合わせ)登録：

- ・登録後は富士通アドバンスドLCMセンターより回答掲載（メールでも通知いたします）



お知らせ照会：

- ・メンテナンス通知やマニュアル掲載など、富士通アドバンスドLCMセンターからのお知らせを掲載します。



【ご参考】FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure



- Microsoft社が提供するクラウドサービス「Microsoft Azure」の豊富な機能を、**月額料金の完全従量制**でご利用いただけるサービスです。

機能の詳細につきましては、Microsoft Azureホームページをご確認ください。
Microsoft Azureホームページ：<https://azure.microsoft.com/ja-jp/>

富士通が提供するAzureの強み

インフラの拡張 IaaS



Azure IaaSの豊富なインフラストラクチャー機能で、思いのままにデータセンターを拡張できます

管理とセキュリティ

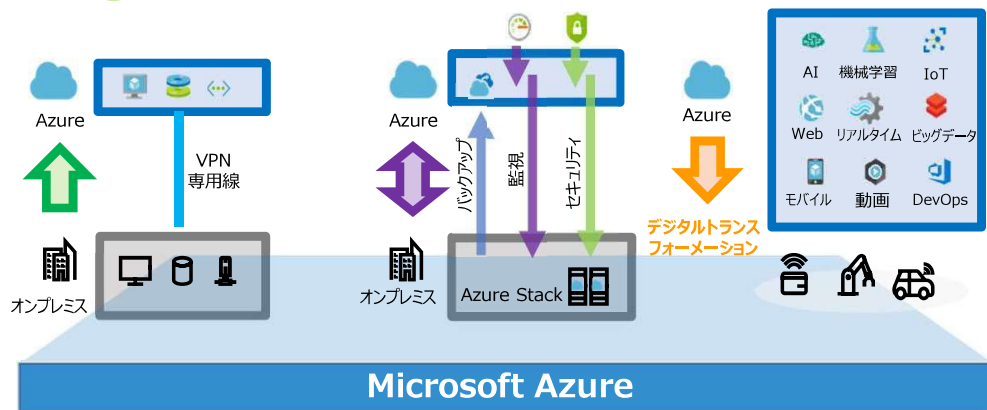


運用監視とセキュリティからハイブリッドデータセンターまで安心してご利用できます

インテリジェント



AI、ビッグデータ、IoTなど、あらゆるPaaSが揃っており、デジタルトランスフォーメーションを支援します



①国内最大級のAzure実績を誇る運用・サポート力

- 国内300社800システムのヘルプデスク提供実績、**自己解決率90%**
- アプリやインフラのSI、運用を実施する富士通SEとの連携による、迅速なトラブル解決が対応
サポート範囲はAzureのみならず、システム全体をサポート

②富士通とマイクロソフト社間の強力な関係による、信頼性

- 2011年からAzureを提供開始し、**日系企業で初めてのAzure Expert MSP認定を獲得**



国内初！

③SoR、SoE共に高いSI力

- 基幹系（SAP等）やデジタルビジネスの構築実績が豊富

【ご参考】

FUJITSU Managed Infrastructure Service VDIサポートサービス



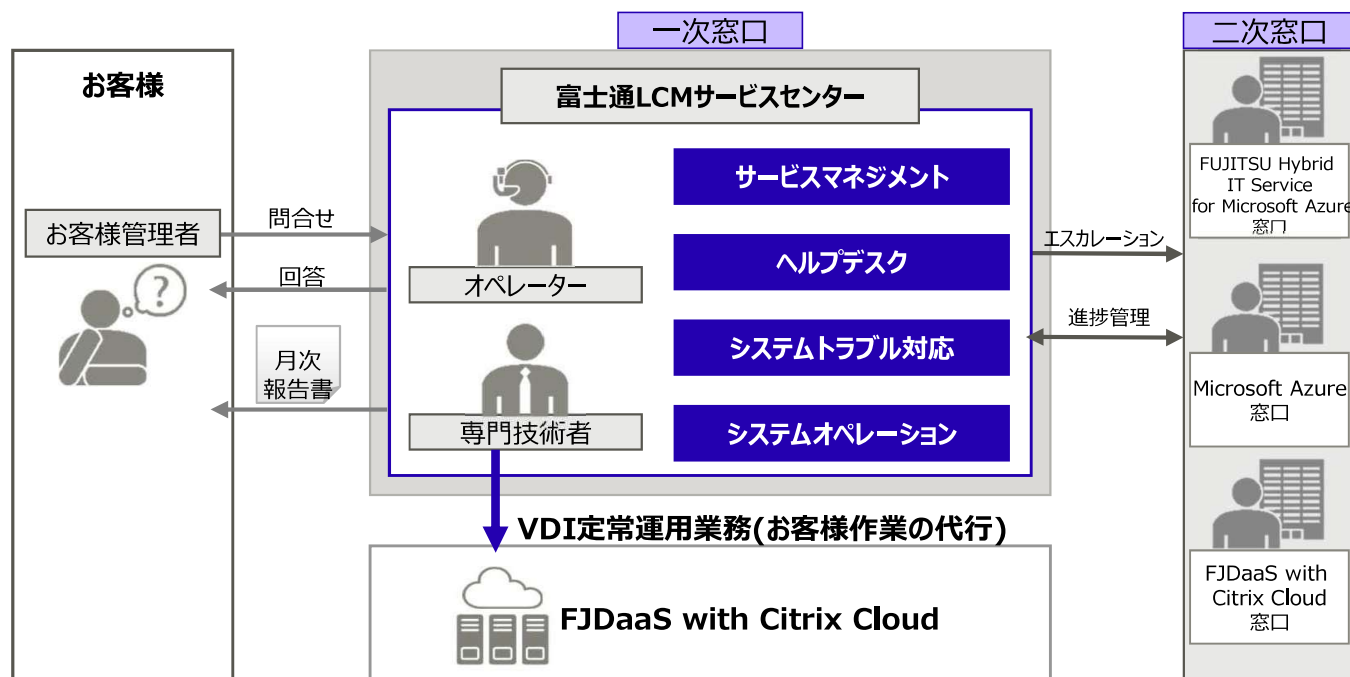
- VDIインフラ基盤運用に必要な作業を全面カバーし、管理者・利用者により快適なVDI環境をご利用いただけるサービスです。

<①一次窓口提供>

お客様にてご用意頂くAzureも含め、本窓口にて一次受付・回答致します。

<②お客様作業の代行>

FJDaaS with Citrix Cloudにおける「お客様作業」を、代行致します。

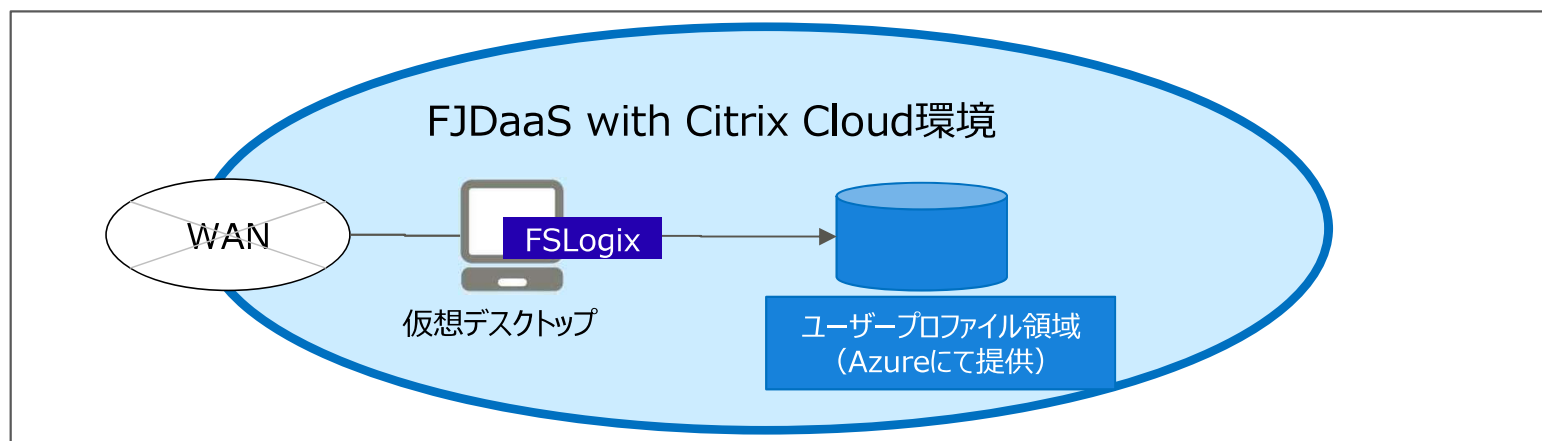


※初期導入時のお客様作業範囲の代行作業も可能です。詳細は、弊社営業までご相談ください

オプションサービス

【オプション】 プロファイル領域設定

- 各ユーザの固有データを永続的に保存するためのストレージ領域としてユーザプロフィール領域を提供致します。



○ ご利用条件

- 本オプションはマルチセッション型、及びシングルセッション・ランダム割り当ての場合に必須選択オプションとなります。
- お客様にてAzure NetApp Filesの利用申し込みを実施して頂きます。

【オプション】 マスター設定

- お客様に代わり、新規マスターイメージを作成します。



○ ご利用条件

- 富士通でのマスター作成代行をご希望される場合、ご契約下さい。基本サービスにはマスター作成は含まれません。
- 1テナントで作成・利用できるマスターの最大数は20個までとなります。
- 本オプションには月額利用料は含まれません。Azure費用と合わせて課金されます。

【オプション】 導入作業代行

- 初期導入時にお客様に実施いただく作業内容について、お客様をご支援、もしくは、お客様に代わって作業を実施いたします。

【作業内容の例】

ヒアリングシート 作成関連作業



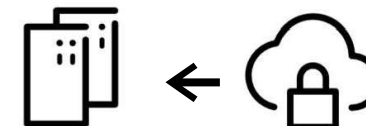
お客様ヒアリング、シート作成支援/代行

ネットワーク関連 設定値変更



Azure Firewall 通信許可定義代行
インターネット接続
ルーティング設定代行

Active Directory 関連作業



お客様ADへの信頼関係設定

○ ご利用条件

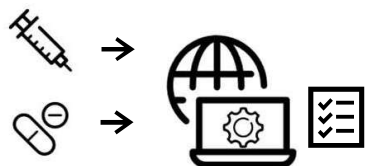
- 作業内容については、本オプションの導入を検討される際にお申し付けください。
- お伺いした作業内容を元に、個別に費用をお見積りいたします。
- 作業内容によっては、お受けできない場合もございます。

【オプション】 運用作業代行

- 運用時にお客様に実施いただく作業内容について、お客様をご支援、もしくは、お客様に代わって作業を実施いたします。

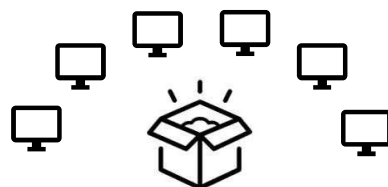
【作業内容の例】

仮想デスクトップマスターのメンテナンス



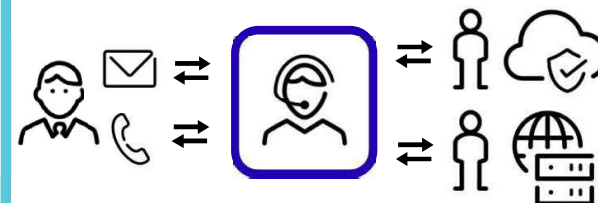
Windows Updateの実施、
アプリケーション更新 など

仮想デスクトップの展開



仮想デスクトップの展開代行

総合問合せ窓口



Azure環境も含めた問合せの
受付、問合せ対応 など

○ ご利用条件

- 作業内容については、本オプションの導入を検討される際にお申し付けください。
- お伺いした作業内容を元に、個別に費用をお見積りいたします。
- 作業内容によっては、お受けできない場合もございます。

お客様でご準備いただくもの

サービス利用環境・お客様でご準備いただくもの

○ サービスを利用するための環境を以下に記載します。

No.	項目	内容	お客様にて準備・設定	備考
1	接続元端末 【必須】	・お客様利用者が使う端末 対応OS：Windows10	○	Window10以外の端末もCitrixがサポートしていれば利用可。但し、お客様にて十分な検証・動作確認が必要
2	ライセンス 【必須】	・仮想デスクトップを利用するためのライセンス ・お客様がご利用になるアプリケーションのライセンス	○	次頁を参照
3	ソフトウェア 【必須】	・Citrix Workspace App（接続元端末上） ・Virtual Delivery Agent（VDA）（仮想デスクトップ上）	○ -	VDAは環境引き渡し時に提供
4	お客様拠点～本サービスで利用するAzure環境間の回線 【任意】	・お客様接続回線(ExpressRouteなど)の設定 閉域網接続をする場合、手配と接続設定を実施下さい。	○	お客様拠点との閉域網接続があり、お客様拠点のADに作成したアカウントを利用して認証する場合はAVD用ADとの信頼関係設定が必要。
5	お客様Active Directory（AD） 【任意】	・お客様利用認証 仮想デスクトップのアカウントをお客様ADに作成頂きます。 ※AVD用ADに直接アカウントを作成することも可能	○	
6	DNSサーバ 【任意】	・本サービスで利用するDNSサーバ ・本サービスで必要となる、IPアドレス（プライマリIP,セカンダリIP）を別途通知頂きます。	○	お客様拠点との閉域網接続が無い場合は不要
7	セキュリティ対策 【必須】	・仮想デスクトップのセキュリティ対策 Microsoft Defender等でセキュリティ対策を実施ください。	○	
8	ファイアウォール（FW） 【任意】	・ファイアウォール設定 通信経路上にFWがある場合、必要なポート（80、443、3389）について、通信許可設定を実施してください。	○	お客様拠点との閉域網接続がある場合に必要

【補足】ご利用に必要なマイクロソフトライセンス（1/2）

- FJDaaS with Citrix Cloudを利用する上で必要となるライセンスは以下の通りです。
お客様にていずれかのライセンスをご準備ください。（2022年3月時点）

- ・Microsoft 365 E3/E5
- ・Microsoft 365 A3/A5
- ・Microsoft 365 F3
- ・Microsoft 365 Business Premium
- ・Windows 10 Enterprise E3/E5
- ・Windows 10 Education A3/A5
- ・ユーザーあたり Windows 10 VDA

■ 注意事項 ■

左記のライセンスは、全て、ユーザーあたりで必要となり、環境を利用するユーザ数分のライセンスをご準備下さい。
なお、「環境を利用するユーザ数」とは、環境を同時に利用するユーザの数ではなく、利用する可能性のある全ユーザの数となります。

※上記は仮想デスクトップでクライアントOSを利用するためのライセンスとなります。

※Microsoft 365 E3/E5/A3/A5/F3/Business Premium、またはユーザーあたり Windows 10 VDA ライセンスをお持ちのお客様は、Windows 以外の端末から Azure Virtual Desktop にアクセスできます。

※ご参考HP <https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/virtual-desktop/>

【補足】ご利用に必要なマイクロソフトライセンス（2/2）

- FJDaaS with Citrix Cloud上でMicrosoft Officeを使う場合での注意点は以下の通りです。
 - お客様が今お持ちのボリュームライセンスで取得したOfficeは、FJDaaS with Citrix Cloudではご利用出来ません。
 - Windows 10 Enterprise マルチセッション、シングルセッション問わず、次のOfficeのみが許可されています。
 - Microsoft 365 Apps for enterprise
 - Microsoft 365 Business Premium サブスクリプションに付属している Microsoft 365 Apps for business
 - 従いまして下記のライセンスが必要です。お持ちでない場合は、新規にご購入ください。
（ボリュームライセンスまたはNCE（旧CSP）ライセンスでの購入）
なお、購入の際は年間契約で、支払いは月払いまたは年払いとなります。
 - Microsoft 365 Apps for enterprise
 - Microsoft 365 Business Premium :付属している Microsoft 365 Apps for businessのみ
(但し、Microsoft 365 Apps for Business/ Microsoft 365 Business Standardは共有ライセンス認証が使えないため不可)
 - その他として以下でも利用可能
(Microsoft 365 Apps for enterpriseが含まれ、かつ、FJDaaS with Citrix Cloud利用のためのライセンスも含まれているため)
 - Microsoft 365 E3/E5
(Microsoft 365 Apps for enterpriseが含まれているため)
 - Office 365 E3/E5

※但し、RPAアプリを利用する場合、上記ライセンス全て利用できません。Microsoft 365 Unattendedライセンスをご利用ください。

參考資料

with Citrix Cloudの付加価値（メリット）

- Citrix Cloudに置き換えるだけで、仮想デスクトップの管理性や性能を大幅に向上します
- 大規模になるほど、管理コストやAzure通信費(画面転送など)の低減効果が期待できます

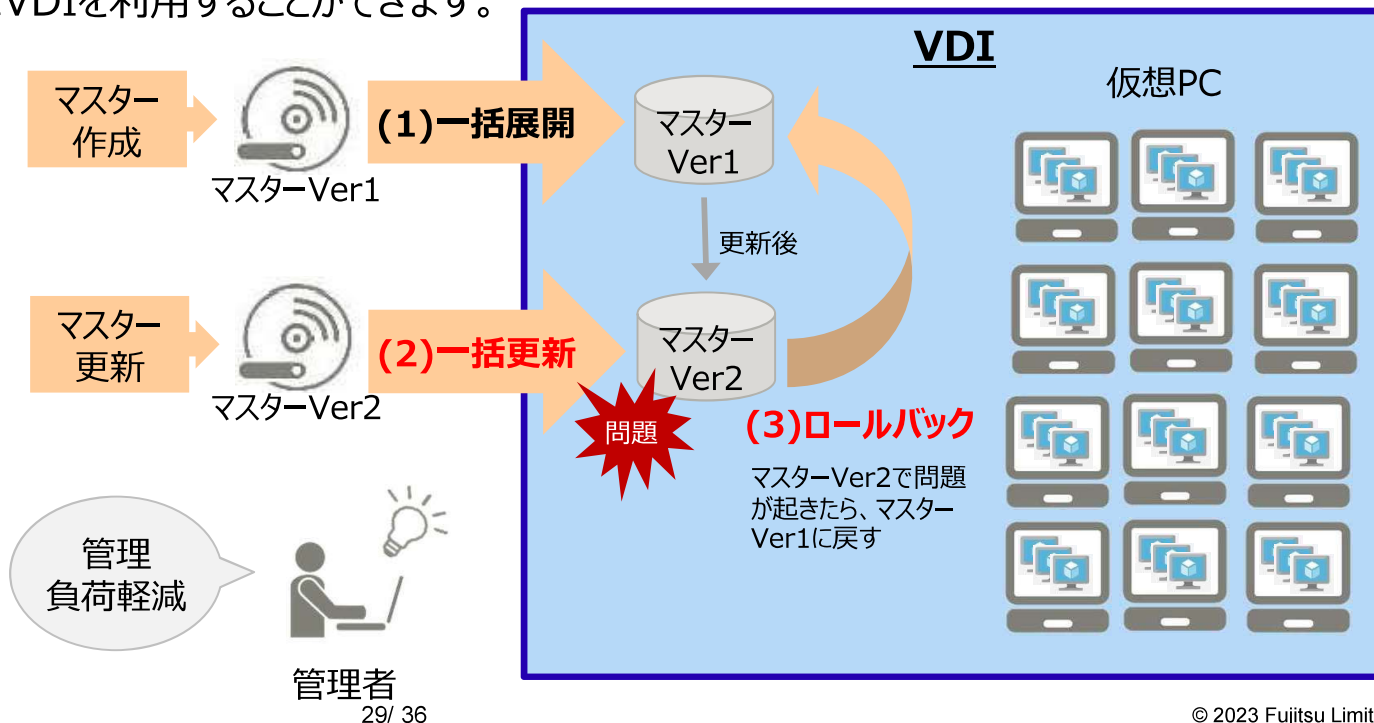
比較項目		Azure Virtual Desktopのみ		Citrix Cloud + Azure Virtual Desktop		付加価値（メリット）
管理	①マスターイメージ管理	△	テンプレートからの一括展開のみ	○	一括展開、一括更新、切り戻し	展開済みマシンの一括更新や問題発生時のロールバックも可能
	②管理コンソール	○	GUIコンソールを利用して管理運用が可能(PowerShellも可)	○	GUIコンソールを利用して管理運用が可能(PowerShellも可)	なし（管理コンソールの詳細は異なる）
	③閉域網接続	×	インターネットを必ず通る(認証がインターネット経由)	○	認証と画面転送の閉域構成も可能	強固なセキュリティ
	④詳細な管理ポリシー	△	グループポリシー	○	グループポリシー、Citrixポリシー	画面に対してデバイスの共有停止、印刷禁止の設定も可能
性能	⑤画面転送パフォーマンス	△	RDP	○	HDX(ICA)による制御 ※Citrix社開発プロトコル	使用帯域が少なく狭帯域や遅延に強い
	⑥ネットワーク帯域消費	×	RDPLレベルのトラフィック消費	○	ネットワーク状態に基づいた適応型圧縮技術	最大20%~30%トラフィック軽減
	⑦仮想マシン負荷軽減	×	なし	○	WEM、リダイレクション機能	リソースの最適化、高集積化による費用低減
	⑧Teams/Skype/Zoom最適化対応	△	リリースされているが機能制限あり	○	HDX Optimization for Teams RealTime Optimization Pack	音声、ビデオは端末デバイス側のCPUを利用し、サーバー側の負荷を軽減

付加価値（メリット） ① マスターイメージ管理

■ マスターイメージ一括管理（一括展開、一括更新、ロールバック）

- AVDIは一括展開のみですが、**展開済みのマシンの一括更新**や何か問題が起きた際の**ロールバック**も可能です（下図は運用例）。
- 特に更新時は、ユーザーのログオフ時に実行するなどユーザーの利便性を損なわずに実行することができ、管理者、ユーザーともに負担をかけずにVDIを利用することができます。

多数のVDIを展開する環境において、展開した後はOSやアプリケーションの更新が発生するため、この工数をいかに減らすかがVDI環境選定の重要ポイント！



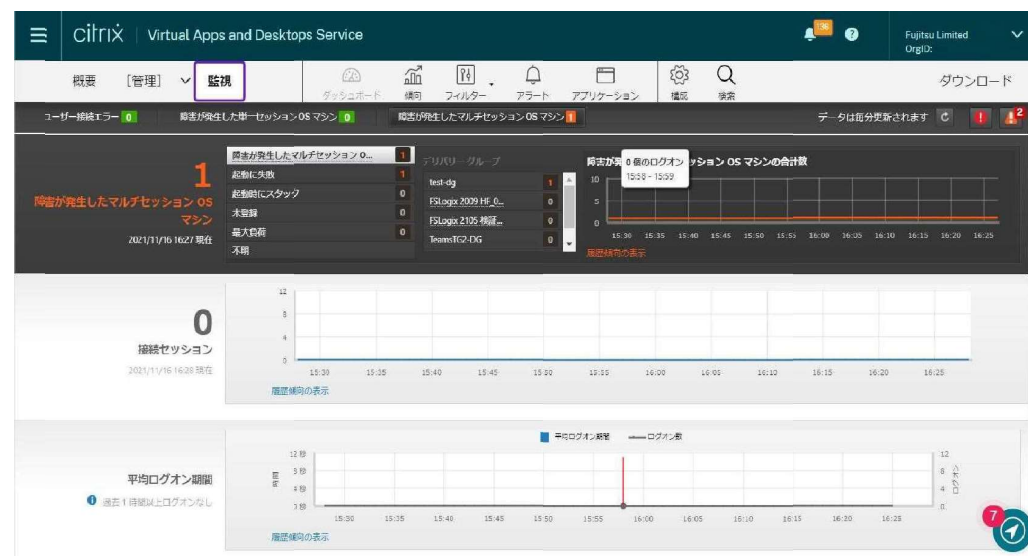
付加価値（メリット）②管理コンソール

■ 直感的な管理/運用が可能なGUIコンソールが充実

- Citrix CloudのWebポータルから仮想デスクトップ環境の様々な管理ができます。「管理」と「監視」の2種類のタブで操作できます。
- 設定や利用状況の分析、詳細な電源管理、トラブル分析など運用Cloud管理を行うことができます。

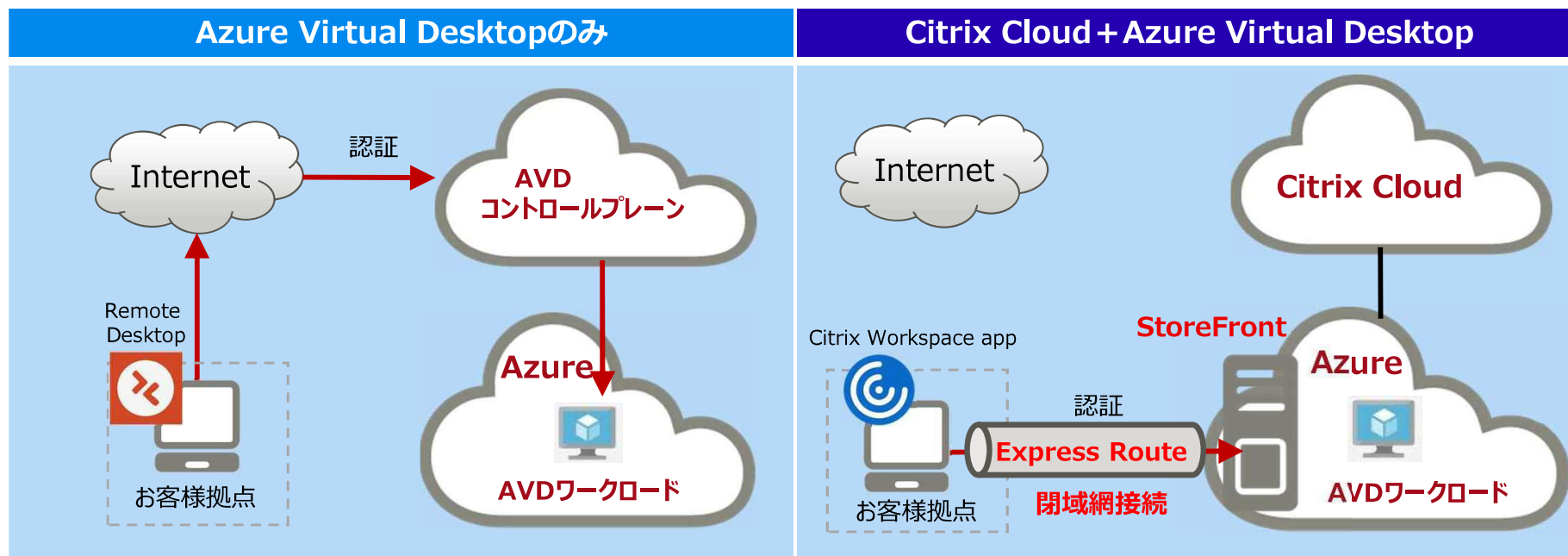
『管理』タブ（主に設定の変更）

『監視』タブ（主に監視/トラブル分析）



付加価値（メリット） ③ 閉域網接続

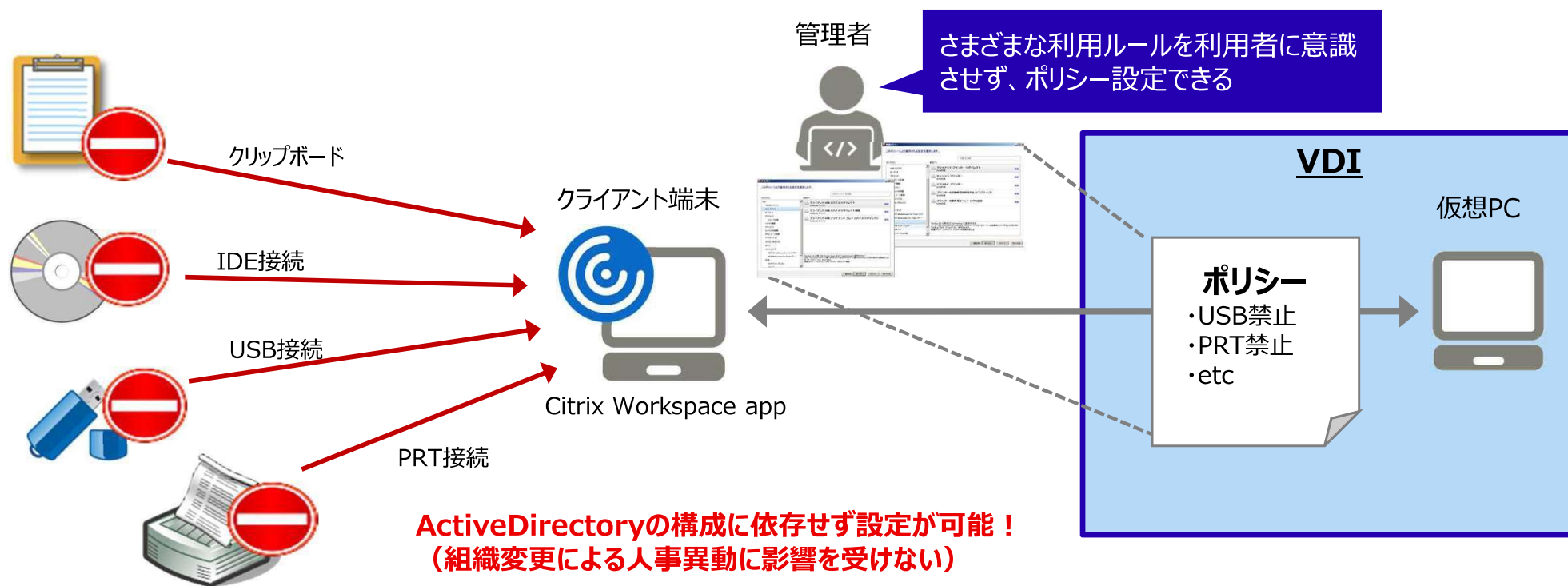
- 認証時にインターネットを介さない閉域網接続が可能
 - **StoreFront（Webサーバ）をAzure内に構成**することで、**お客様拠点とAzure間にExpressRoute**を引いて閉域網接続が可能です。
 - 認証の部分はStoreFront経由で行い、実際の画面転送の部分もAzureとお客様拠点間の閉域網でやりとりされるため、セキュリティを重視する構成を実現可能です。



付加価値（メリット）④ 詳細な管理ポリシー

■ Citrixポリシーによる詳細設定が可能

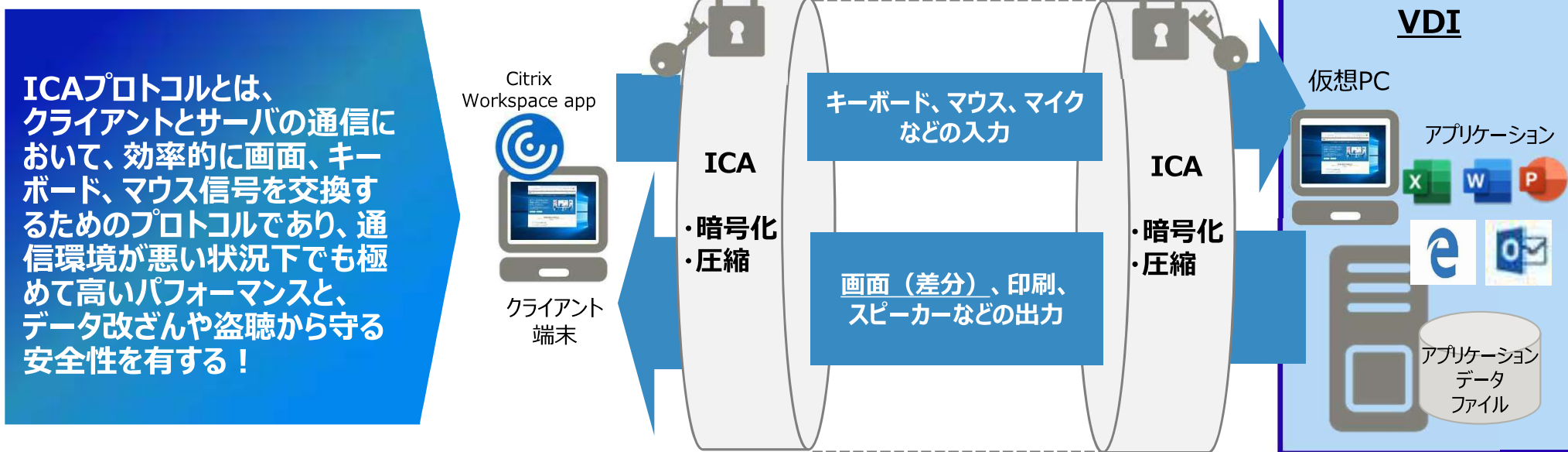
- AVDはADDS（Azure Active Directory Domein Service）によるグループポリシー設定が可能ですが、それに加えて、詳細なCitrixポリシー設定（画面に対してデバイスの共有禁止、印刷禁止、など）も可能です。



付加価値（メリット） ⑤画面転送パフォーマンス

■ HDX^{*1}(ICA^{*2})による制御（Citrix社開発プロトコル）

- ネットワークがそれほど潤沢でない昔から、使用帯域が少なく遅延に強い環境を実現できる強みを持っています。
- 用途ごとに、使用できる帯域を制御することができます。



*1 : High Definition Experienceの略称 : デバイスやネットワークを問わず、仮想デスクトップとアプリケーションを高品位のユーザーエクスペリエンスで提供

*2 : Independent Computing Architectureの略称 : シトリックス・システムズ社開発プロトコル

付加価値（メリット）⑥ネットワーク帯域消費

■ ネットワーク状態に基づいた適応型圧縮技術

- AVD単体より少ない通信量でVDIに接続することができるため、Azureからのアウトバウンドトラフィックを削減でき、Azure利用にかかるコスト削減にも貢献することができます。

Azure Virtual Desktopのみ	Citrix Cloud+ Azure Virtual Desktop	削減要素
<h3>アウトバウンドトラフィック軽減（例：ブラウザ上下スクロール）</h3> <div data-bbox="121 820 787 1177"><p>581kbps コスト増 ¥ ¥ ¥</p><p>AVDワークロード</p><p>RDP (Remote Desktop Protocol) マイクロソフト社開発</p></div> <div data-bbox="842 820 1528 1177"><p>144kbps (約4分の1) コスト減 ¥</p><p>AVDワークロード</p><p>ICA (Independent Computing Architecture) シトリックス・システムズ社開発</p></div>		<ul style="list-style-type: none">・ HDXによるトラフィックの最適化・ 画面圧縮技術・ 印刷、ファイルのダウンロード・ クライアントフェッチによるローカルオフロード

※テストの条件やバージョン、利用するアプリケーションによってコスト削減効果は変わります。上記はあくまでも参考値になります。

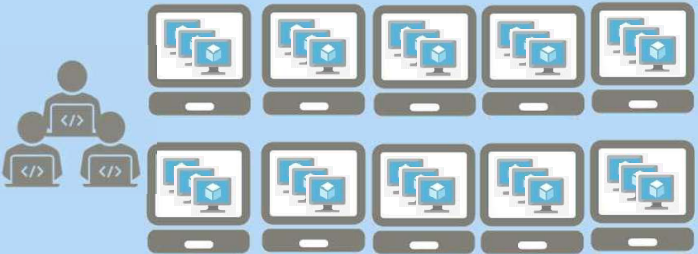

付加価値（メリット） ⑦仮想マシン負荷軽減

■ WEM^{*1}、リダイレクション機能^{*2}による負荷軽減～費用低減

- 各種オフロード機能などにより、1 VM当りに集約できるユーザー数はAVD単体より増やすことができます。
- 大規模ユーザーでVDIを展開する場合、AVDと比較して仮想マシンを1割～4割程度削減の参考値がでています。

*1：Workspace Environment Managementの略称：可能な限り最高のパフォーマンス、デスクトップログオン、およびアプリケーション応答時間を提供

*2：リダイレクション機能：画像、動画、オーディオ、Webコンテンツ等の再生処理をクライアントデバイス側のCPU/GPUで実施させること

Azure Virtual Desktopのみ	Citrix Cloud + Azure Virtual Desktop	削減要素
<p>1VM当たりのユーザー数：少ない</p> 	<p>1VM当たりのユーザー数：多い</p>  <p>1割～最大4割程度削減</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・削減根拠の内訳 -Citrix Workspace Environment Managementによる集約率向上効果：～28% -Citrix Optimizerによる集約率向上効果：～17% -各種オフロード機能による集約率向上効果：+α

※テストの条件やバージョン、利用するアプリケーションによってコスト削減効果は変わります。上記はあくまでも参考値になります。

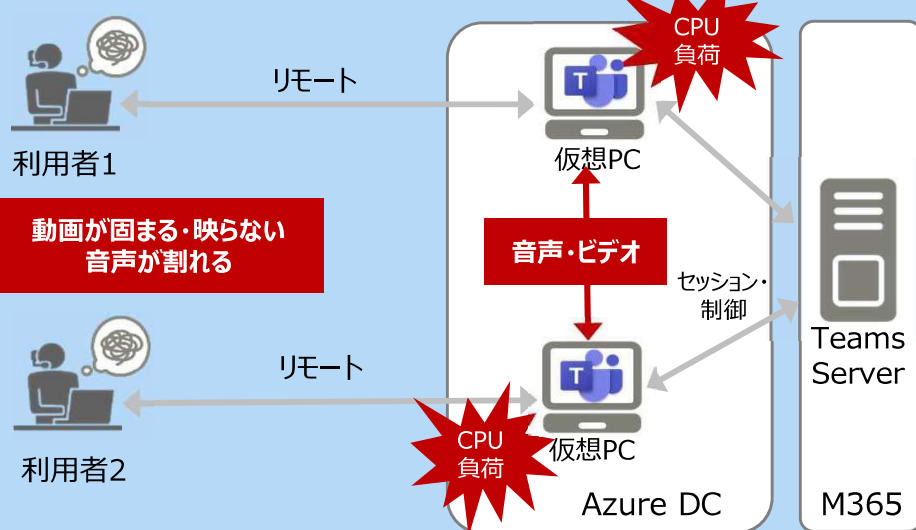
付加価値（メリット） ⑧ Teams/Skype/Zoom最適化

■ Citrixアドオン機能による会議の最適化

- AVDのみでは、**仮想PC側のCPUが音声、ビデオで消費**され、CPUやネットワーク負荷が高くなります。
- Citrixアドオン機能利用により、**二者間の音声、ビデオは端末デバイス側で消費**され、サーバー側のCPUやネットワークの負荷が低くなります。

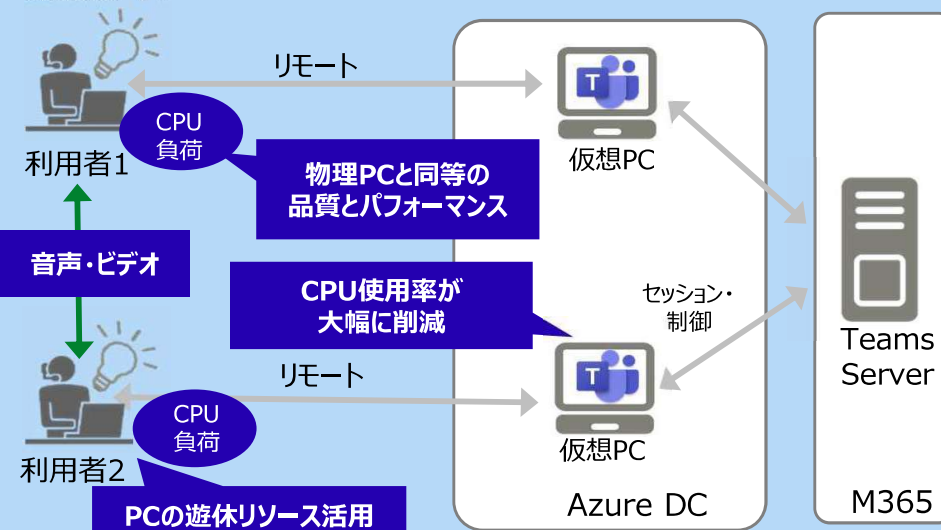
Azure Virtual Desktopのみ

利用者が増えれば増えるほど、動画・音声が使えない



Citrix Cloud + Azure Virtual Desktop

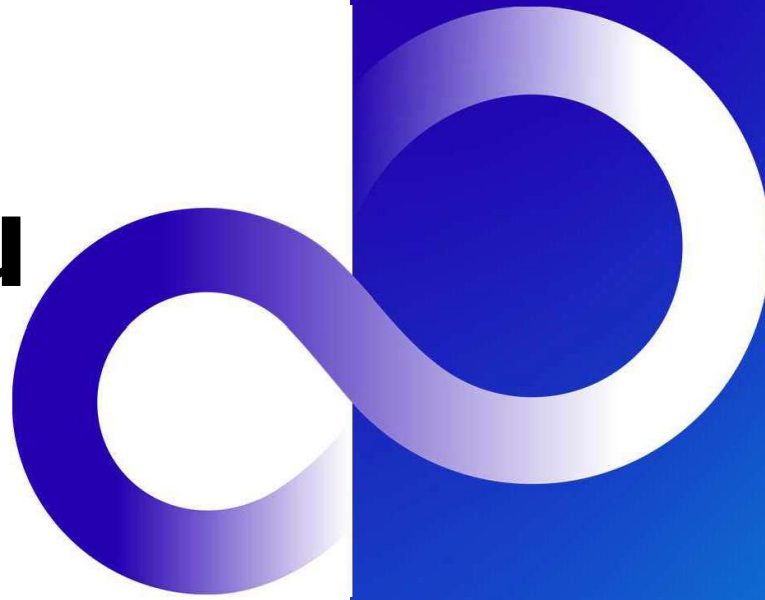
Citrixのアドオン機能を利用すれば、物理PCで利用と同等のパフォーマンスを実現



※1：3人以上の通信はWeb会議サーバ経由。

※2：Teams/Skypeの場合は、オプションのM365ダイレクトアクセス設定を行う事で、お客様ネットワークを経由せずにAVD環境とMicrosoft 365環境間の通信を行う事が可能になります。オプション未使用の場合は、お客様ネットワークを経由しての通信となります。

Thank you



FUJITSU